



平成27年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成27年9月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第3四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第3四半期	25,218	△2.8	509	60.2	454	71.4	215	56.6
26年10月期第3四半期	25,943	△1.6	318	△41.4	264	△29.5	137	△18.3

(注) 包括利益 27年10月期第3四半期 217百万円 (57.2%) 26年10月期第3四半期 138百万円 (△19.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第3四半期	17.85	17.79
26年10月期第3四半期	11.46	11.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年10月期第3四半期	26,643	6,881	25.7	566.74
26年10月期	24,402	6,826	27.8	564.58

(参考) 自己資本 27年10月期第3四半期 6,848百万円 26年10月期 6,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年10月期	—	7.50	—	—	—
27年10月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,300	4.1	880	423.5	800	654.0	460	—	38.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年10月期3Q	12,688,000 株	26年10月期	12,688,000 株
② 期末自己株式数	27年10月期3Q	603,482 株	26年10月期	680,045 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年10月期3Q	12,071,046 株	26年10月期3Q	12,004,455 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年11月1日～平成27年7月31日)におけるわが国経済は、企業業績の回復基調を受けて堅調に推移してまいりましたが、4月以降は海外景気の減速を受けて輸出が落ち込むなど、景気回復基調に停滞感も出てまいりました。円安による食品価格の上昇などにより家計の節約志向も強まる兆しがあり、個人消費の動向は予断を許さぬものがあります。

このような経営環境の中、当社グループではお買物をしながら楽しく時間を過ごしていただける、時間消費型・滞在型の店舗づくりを進めてまいりました。

当社の大型複合店舗は、3,000㎡を越す広い売場面積に、書籍に映画、音楽、ゲーム、カフェといった「日常的エンターテインメント」を集約し、眺めるだけでも楽しく、再来店したくなる売場作りを目指しております。さらに、書籍をきっかけとした新たなライフスタイルづくりをお手伝いする、さまざまなカテゴリーの商品を取り揃え、広い世代のお客様にお買物を楽しんでいただくためのご提案を続けてまいりました。このような中で、本年3月に千葉県茂原市に出店いたしました「蔦屋書店茂原店」は、当社の目指す店舗作りの最新型であり、千葉県進出の1号店となります。同店の出店により、当第3四半期連結累計期間末のグループ合計店舗数は73店舗となりました。

また、既存店におきましても、大小さまざまな規模の改装を実施し、お客様のご期待を上回るよう努めてまいりました。蔦屋書店アクロスプラザ美沢店(新潟県長岡市)をカフェ併設のライフスタイル提案型店舗へと改装いたしましたほか、蔦屋書店横越バイパス店(新潟市江南区)では、株式会社三越伊勢丹が運営する「エムアイプラザ横越」をテナントとして招き、百貨店商材との相乗効果を図っております。一方、古本市場トップブックス横越バイパス店は移転して蔦屋書店新津店(新潟市秋葉区)に隣接し、「古本市場トップブックス新津店」として新たなスタートを切りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,218百万円(前年同期比97.2%)、営業利益509百万円(前年同期比160.2%)、経常利益454百万円(前年同期比171.4%)、四半期純利益215百万円(前年同期比156.6%)となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの軸である蔦屋書店事業において、書籍の売上が前年同期比101.6%と堅調に推移し、同事業売上高の構成比で5割を超えました。また、ヒット作に恵まれたCD販売が前年同期比104.9%と伸長し、文具の売上も前年同期比104.7%と好調でした。その一方で、昨年7月に大ヒット作の恩恵を受けたDVD販売は、その反動を埋めきれず前年同期比82.5%にとどまったほか、レンタル部門やゲーム部門でも前年を上回ることが出来ず、蔦屋書店事業全体の売上高前年同期比は97.2%(既存店98.3%)にとどまりました。

利益面につきましては、仕入経路や原価の見直しに取り組んだ結果、連結売上総利益率は前年同期比1.2ポイント改善しました。その一方で販管費率の増加を0.4ポイントに抑えた結果、営業利益は前年同期比60.2%増加し509百万円に、経常利益は前年同期比71.4%増加し454百万円に、四半期純利益は前年同期比56.6%増加して215百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①蔦屋書店事業

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高24,593百万円(前年同期比97.2%)、セグメント利益は447百万円(前年同期比157.6%)となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍101.6%(既存店99.0%)、文具104.7%(既存店101.8%)、レンタル87.6%(既存店93.8%)、販売用CD 104.9%(既存店103.8%)、販売用DVD 82.5%(既存店82.4%)となりました。書籍が堅調に推移した事に加え、文具・CD販売が好調でした。その一方で、DVD販売は、昨年の反動を埋めきれず、レンタル部門やゲーム部門でも前年を上回ることが出来ませんでした。

②その他

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高629百万円(前年同期比99.1%)、セグメント損益は12百万円の損失(前年同期比6百万円損失減)となりました。

中古買取販売事業は、売上高前年同期比96.3%となりました。一方、スポーツ関連事業は、売上高前年同期比107.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比2,241百万円増加し、26,643百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,447百万円、新規出店等に伴い商品が282百万円、リース資産が957百万円それぞれ増加した一方、長期前払費用が335百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比2,185百万円増加し、19,761百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,204百万円、1年内返済を含む長期借入金が572百万円、リース債務が848百万円それぞれ増加した一方、設備未払金が617百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比55百万円増加し、6,881百万円となりました。これは主に、利益剰余金が32百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績が概ね計画通り推移していることから、平成26年12月4日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	637,075	2,084,723
売掛金	195,980	244,887
商品	9,185,449	9,468,306
前払費用	308,613	311,774
繰延税金資産	41,010	29,510
未収入金	334,877	306,386
その他	68,158	36,770
貸倒引当金	△290	△284
流動資産合計	10,770,877	12,482,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,964,091	2,813,186
土地	1,487,798	1,583,610
リース資産(純額)	3,741,660	4,699,544
その他(純額)	61,467	32,698
有形固定資産合計	8,255,017	9,129,039
無形固定資産		
その他	49,796	48,359
無形固定資産合計	49,796	48,359
投資その他の資産		
繰延税金資産	530,658	472,129
敷金及び保証金	3,765,730	3,620,208
その他	1,030,175	891,906
投資その他の資産合計	5,326,564	4,984,245
固定資産合計	13,631,379	14,161,644
資産合計	24,402,256	26,643,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,625,181	3,703,389
短期借入金	1,545,750	2,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,311,206	1,491,846
リース債務	652,742	952,350
未払法人税等	40,380	140,765
賞与引当金	45,000	27,000
未払金	508,417	490,371
その他	952,002	316,567
流動負債合計	8,680,679	9,872,289
固定負債		
長期借入金	4,489,123	4,881,082
リース債務	3,626,299	4,174,803
資産除去債務	468,394	474,595
退職給付に係る負債	93,790	86,673
役員退職慰労引当金	68,278	62,941
長期末払金	44,563	98,540
長期預り敷金保証金	104,829	108,796
その他	—	2,010
固定負債合計	8,895,279	9,889,441
負債合計	17,575,959	19,761,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	2,772,715	2,805,187
自己株式	△304,250	△270,028
株主資本合計	6,779,526	6,846,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	2,621
その他の包括利益累計額合計	△34	2,621
新株予約権	21,034	8,249
少数株主持分	25,770	24,898
純資産合計	6,826,296	6,881,989
負債純資産合計	24,402,256	26,643,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)
売上高	25,943,793	25,218,205
売上原価	17,620,197	16,833,772
売上総利益	8,323,595	8,384,432
販売費及び一般管理費	8,005,342	7,874,604
営業利益	318,252	509,828
営業外収益		
受取利息	20,522	22,452
協賛金収入	930	14,668
その他	48,195	40,888
営業外収益合計	69,647	78,008
営業外費用		
支払利息	122,913	133,689
営業外費用合計	122,913	133,689
経常利益	264,987	454,148
特別利益		
投資有価証券売却益	35,000	—
新株予約権戻入益	11,494	3,632
特別利益合計	46,494	3,632
税金等調整前四半期純利益	311,481	457,780
法人税、住民税及び事業税	144,107	174,464
法人税等調整額	32,186	68,772
法人税等合計	176,294	243,237
少数株主損益調整前四半期純利益	135,187	214,543
少数株主損失(△)	△2,351	△872
四半期純利益	137,538	215,415

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	135,187	214,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,994	2,656
その他の包括利益合計	2,994	2,656
四半期包括利益	138,181	217,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,533	218,072
少数株主に係る四半期包括利益	△2,351	△872

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、当社及び国内連結子会社の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.38%から、平成27年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については32.83%に、平成28年11月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、32.06%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は49,254千円減少し、法人税等調整額が49,383千円、その他有価証券評価差額が128千円、それぞれ増加しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,312,027	631,765	25,943,793	—	25,943,793
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,267	3,267	△3,267	—
計	25,312,027	635,033	25,947,061	△3,267	25,943,793
セグメント利益又は損失(△)	284,070	△18,062	266,007	52,245	318,252

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年11月1日 至 平成27年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	24,593,631	624,573	25,218,205	—	25,218,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,522	4,522	△4,522	—
計	24,593,631	629,096	25,222,727	△4,522	25,218,205
セグメント利益又は損失(△)	447,761	△12,017	435,744	74,084	509,828

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年7月31日)		
		売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
蔦屋書店事業	書籍	12,544,941	49.7	101.6
	レンタル	3,917,446	15.5	87.6
	文具	2,457,245	9.8	104.7
	販売用CD	1,805,016	7.2	104.9
	販売用DVD	986,509	3.9	82.5
	ゲーム	941,076	3.7	96.4
	リサイクル	283,689	1.1	114.5
	その他	1,657,704	6.6	82.8
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—
	計	24,593,631	97.5	97.2
その他	外部顧客に対する売上高	624,573	2.5	98.9
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,522	0.0	138.4
	計	629,096	2.5	99.1
合計		25,222,727	100.0	97.2

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3 蔦屋書店事業の「その他」は、電化製品、ブランクメディア、図書カード、中古品、賃貸不動産収入等であります。